



岡山大学法学部だより



※ 本メールは登録された方にものみお送りしています

第 82 号(2013 年 12 月 16 日発行)

発行：岡山大学法学部 学部長室

あつという間に 12 月になりました。

目次

- 卒業生からのメッセージ (第 33 回)
- 最近の話題・法学部からのお知らせ

○ 卒業生からのメッセージ (第 33 回)

1987 年に法学部を卒業した重本由宇と申します。

現在は個人で人事労務分野のコンサルタントをしています。企業の人事制度をつくったり、法的なアドバイスをしたりするのが主な仕事です。個人事業は、収入が不安定というリスクはありますが、組織に縛られず、自己責任で思うようにできるのが最大のメリットです。この機会に、なぜ私がこのような仕事に関わるようになったのかをお話ししたいと思います。

卒業後は金融機関に入り、預金や融資といった一般の銀行業務のほか、外国為替などの専門業務を経験しました。仕事にも職場にも概ね満足していましたが、どうも定年まで勤めるイメージが描けず 7 年間ほどで退職しました。

その後、近所の小さな製造業にアルバイトで雇ってもらったのですが、残業代が出ない、社員が平気で遅刻・欠勤するなど、大企業とは違う労働環境に驚き、労務管理に興味を覚え、再就職のために何か資格がほしかったこともあって、社会保険労務士の勉強を始めました。就職活動も続けていたのですが、うまくはいかず、社労士取得後に受けた中小企業診断士の合格を機にコンサルタントとして独立をしました。

ほとんど実務経験がないまま開業したので、それなりの苦労はしましたが、多くの方のお世話になることで少しずつ仕事を心得、何とか今日に至っています。

元々関心があったのが政治学で、法学部にいながら法律の科目には興味がなく、中でも労働法や商法などには見向きもしなかった私ですが、今では、その世界に深く浸かっている次第です。どう転ぶかは本当にわからないものです。

このように、私自身はバラバラなキャリアを積んできたのですが、ムダと思えることでも後から考えれば、何かしら役に立っていることはたくさんあります。

やりたい仕事を明確にし、目標に向かって突き進むのはもちろん素晴らしいことですが、思い通りにはならず予期しない仕事や部署に就くこともあるでしょう。でも、やってみたら適性があるとか、面白いということは意外と多いです。

在学生の皆さまには、そのような経験が確実に将来の財産となることをわかっていただければと思います。

重本由宇 (1987 年卒業・重本コンサルティングオフィス)

○ 最近の話題・法学部からのお知らせ

☆吉岡桂子さんの「問答有用」が出版されました。

本学卒業生で今年の岡山大学法学部ホームカミングデーで講演をしていただいた朝日新聞東京本社編集委員の吉岡桂子さんの新刊「問答有用」が岩波書店から発売されました。

ホームカミングデーの講演でも触れられた、中国の経済エリート、研究者、ジャーナリスト、NGO活動家など改革派19人へのインタビューとそれに対する解説が加えられています。

岡山大学生協ブックストアにも入荷していますので、ぜひお読みください。

-
- ・本メルマガは、毎月2回程度配信しています。
 - ・法学部の詳細情報に関しては、HPも併せてご覧ください。
法学部 HP <http://www.law.okayama-u.ac.jp/>
 - ・本メルマガには返信なさないようにお願いします。
 - ・本メルマガの登録・解除は、以下のURLにてお願いします。
<http://www.law.okayama-u.ac.jp/local/mail/>
 - ・ご意見・ご感想は、法学部 情報委員会 joho-mailmaga@law.okayama-u.ac.jp まで。